



しとまは選挙。選政半数
あけで今年です。総公過
ておごす。参議院の昨年権

割れに追い込んだのは、これ
までの政治に対するノーの
が反映されたものと言えます。
とはいえ、たたかいはこれか
らが正念場。切実な声を届け
るためには議席を増やすこと
が求められます。どうか、大
きなご支援をよろしく願い
いたします。

観光協会への補助金660 万
円は大阪万博を契機とし、
観光情報などの新たなサイト
を構築し宿泊や消費拡大につ
なげるこのことですが、大阪
万博は予定が大幅に遅れてい

大阪万博は観光振興につながるのか？

12月5日に開会された定例市議会は
16日間の一般質問や常任会審議を経て、
20日の最終日、提案された議案すべてが
原案通り可決されました。
日本共産党市議員団は提案された議案25

件のうち6件に反対し討論を行いました。
教員の増員などを求める請願は残念ながら、
不採択となりました。反対した議案の問題
点は次の通りです。(抜粋)

12月議会報告

るだけでなく関心も薄い上に
安全・安心が保障されていま
せん。このまま突き進んでも

森林環境税とは？

今回の議案は、2024年
から国税として一人当たり1
000円徴収することになっ
た森林環境税を地方税回収機
構の共同処理する事務に加え
るための規約変更です。森林
環境税は市で徴収されている
県税(きのくに森づくり税)
と目的が同じで二重課税とい
う指摘があります。和歌山市
のように森林がない自治体は

譲与税として交付されても木
材の利用・普及啓発などに限
られ、十分に活用されている
とは言えません。災害対策や
地球温暖化防止という目的を
達成するためには必要として
いる自治体へ国が直接、財源
措置をするべきです。また、
地方税回収機構のあり方も滞
納者に寄り添うものとは言い
難いと言わざるを得ません。

観光振興にはつながらないの
ではないでしょうか。

「裏金」2000万円で大敗!!

スクープした しんぶん赤旗

ぜひご購読を

日刊紙 月3497円
日曜版 月990円

新しい国会でも
追及します!

日刊電子版・日曜版
3週間無料お試し出来ます!

日本共産党

森下さち子の一般質問

青岸エネルギーセンター建替えについて

和歌山市の家庭ごみは収集された後、エネルギーセンターで焼却され、残った焼却灰を大阪のフェニックスへ運び埋め立てられています。エネルギーセンターは稼働後38年が経過して

いることから、9月議会で建替え計画について報告されました。ところが、現地建替えではなく住友金属が埋め立てた西防波堤沖へ移転すること、建替えには610億円かかること、新たにメタン発酵

施設を併設させることなどが明らかになったものの、すでに実施しているところとの比較検討もなく、

根拠が分からないまま進もうとしていることから、説明会を開き、市民の合意を得るために声を聞くことを求めました。市は当該地域（西防波堤沖の近隣）の自治会長



12月議会で質問をする森下さち子市議

市長の政治姿勢について

6月議会で取り上げた、市の不正を公益通報したのち、自死した市職員のその後について質しました。職員が提出した休職願いには「同和と市行政との癒着が改善されておらず、市政に深く根差す深刻な問題」と書かれていたことから、そのことをどう考えるかと市長に聞きました。市長は「特別措置法により33年間実施されてきた同和対策の終了後、一般対策へ移行したものの、見直しが進まず悪しき慣例や不正を正せなかった

には説明を始めている、計画案に對するパブリックコメントを行い、これから建て替え計画を進める中で開かれる公聴会などで市民の意見を聞くと答えました。

ことがこの指摘につながったと考えるが、あつてはならない由々しき問題」と答えました。私は一般対策へ移行したと言いつつ未だに多額の補助金を交付している子ども会や公募しない市営住宅などの特別対策を継続していることが問題であり見直すべきだと指摘しました。市長は、住宅については公募を含めた入居基準について検討するとしたものの、子ども会や住宅の減免などの対策は続けるとの答弁に終始しました。

無料
法律相談

井辺・森下さち子事務所にて

- 1月27日(月) 13:30~
- 2月12日(水) 18:00~
- 2月26日(水) 13:30~

◆事前予約をお願いします。

市役所議員団控室
森下さち子まで

☎ **435-1113**

